

テーマ 「森の循環と人とのコラボレーション、森のめぐみ」

演 題

講 師

「森の恵み」に生かされて～酒造り・地域の営み」 泉金酒造株式会社 社長

八重樫義一郎 氏

「東京の森の恵み」

株式会社東京チェーンソーズ 社長

青木 亮輔 氏

会 場 三菱製紙本社（両国シティコア11F 会議室1,2-1,2-2,3,4-1,4-2）

緑の中にこだまするチェーンソーの爆音と甘く心を酔わせるお酒の香り、威勢のいい若者の掛け声と地域に生き続ける人間の営み、伝統と夢、岩手県岩泉町と東京都桧原村。あくまでも対照的な二つの講演。でも思いはひとつ。聴講者は総勢約240名を数えました。

聴講者 総数 約 240 名

本社本館	約	148 名
・得意先等		48 名
・従業員	約	100 名

TV会議 90 名

高砂	21 名	北上	10 名
京都	20 名	白河	7 名
八戸	32 名	KJ特殊紙	



「講演に聞き入る聴講者（本社会場）」



「板倉エコアカ校長による講師紹介」

お二方とも、森のめぐみを地域の活性化につなげることによって持続可能な林業・事業経営にしようとしていらっしゃいますが、新と旧／事業の継続とゼロからの出発／地方と東京という対比を成しており、違った角度から今回の環境セミナーのテーマに沿ったお話をいただくことができました。

講演「森の恵み」に生かされて～酒造り・地域の営み」



「お酒と森の綾を穏やかに語る八重樫様」

岩泉という地域に密着して、連綿と続く森のめぐみとのつながりを穏やかにわかりやすく話していただきました。特に日頃お世話になっているお酒にまつわるお話とあって、酒造りと森との関係には関心が集まりました。これでまたお酒が美味しく飲めます。酒造りには欠かせない燃料と水とお米。それらは全て活力ある樹木・緑豊かな森があってこそのもです。さらに、そこから発展派生して運輸業・エネルギー業へと事業の拡大発展をなしてきた歴史と伝統とバイタリティーには学ぶべきところが多くありました。そして、根底に流れる地域を大切にする思い、生かされているという謙虚さが生き続けるための真の力強さの源となっていると感じました。

講演「東京の森の恵み」



「東京での林業を熱く語る青木様」

一般の方には現状が見えない林業の実態をその当事者から直接聞いたこと、そしてそこにある課題を打破しようとする斬新かつ具体的な取り組みが注目されました。林業に対する熱い思いを持ち、課題はむしろ可能性として捉え、「他ではやっていないからやってやる」の精神で、目標を明確に描きそれに向かっていく。東京で若者が林業、現状の真逆を突き進む。だからこそ現状打破ができるのでしょうか。さらにその取り組みには様々な統計データの裏づけがあり、官民いろいろなネットワークを活用し、ITによる情報発信にも力を入れている。森の恵みと東京の村であることを強みとして最大限に生かし、地域を元気にし、そして森もまた更に活気に溢れる。好循環が始まります。

講演を終えて、お忙しい中ご講演くださった講師の方々に感謝するとともに、環境セミナーの目的である「森の循環・持続可能な発展」についての啓発およびセミナーを介しての営業支援については成果があったと振り返っています。しかしながら、聴講してくださった皆様からは多くのご意見をいただきました。それらを次回に活かし、より魅力的な環境セミナーとしたいと思っていますので、ご期待ください。